

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

事業所名		公表日			
こども発達支援センターいるか まくらざき		R7年 2月 28日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・利用時における十分なスペースがあり、場合によっては部屋の使い分けを状況に応じて行っております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・定められた職員数に従い、よりよい支援ができるよう励んでおります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・構造によってバリアフリー化でない箇所については、必要に応じて職員を配置し、見守り等を徹底しております。	・構造によってバリアフリー化でない箇所があります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・清掃や消毒を毎日行い、心地良く過ごせる環境を提供しております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別で部屋が使える環境や場所の設定を行っております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・月に1度、事業所内で目標を設定し、職員間での共通理解を深め、業務に取り組んでいます。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・年に1回アンケートを実施し、保護者様の意見を把握して改善すべき点を職員間で話し合い、業務改善に繋げております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・定期的に職員間でのミーティングを行い、職員の意見を聞く機会を設けています。それらの内容を踏まえて、業務改善に繋げています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・第三者による外部評価を行っております。	・今後も第三者による外部評価を行っていく、よりよい業務ができるよう取り組んでまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・職員のスキルアップのために、外部の研修を受講する機会や事業所内での研修を実施する機会を設けています。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムの作成・公表を行っております。	・支援プログラムに沿った支援を提供してまいります。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・アセスメントシートを用いて、利用児の課題やニーズを職員間で話し合い、計画書作成を行っております。	・今後も引き続き、アセスメントシート元に職員間で話し合い、課題やニーズを客観的に分析する機会を設けていきます。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・支援を行う職員にも意見をいただき、お互いに共通理解を深めた上で計画書の作成を行っております。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・放課後等デイサービス支援計画を職員間にも共有し、計画に沿って支援を行っております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・アセスメントに基づきながら支援を行っております。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・発達段階に見合った支援内容を設定しております。また、計画書の作成も定期的に見直し等を行いながら、支援内容を設定しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・活動のプログラムや支援の進め方は、職員間で話し合い意見を出し合いながら立案しております。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・プログラム内容が固定化しないよう、その都度振り返りを行い、活動の目的やねらいを設定しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個人の発達段階に合わせながら、個別活動と集団活動を組み合わせた計画の作成を行い、支援を提供しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・職員間で支援内容や役割分担等、事前に話し合っ決めて、連携を図りながら支援に努めております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・その日の支援終了後、申し送り等で反省点、または改善点を話し合い、次の支援に向けて職員間で情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援内容の記録を徹底して行っております。それらの記録をもとに職員間での話し合いの場で改善点などを話し、支援に繋げております。	
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に1回モニタリングを行っており、それに伴った放課後等デイサービス計画書の見直し等を行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・4つの基本活動に沿って、その日の利用者の状況等に合わせ、内容を組み合わせながら支援を行っております。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・活動の中で利用者自身が選択できるきっかけ作りや場面を取り入れる工夫を行っております。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・主に児童発達支援管理責任者が参加しております。また、必要に応じてその利用者様の状況をよく理解した者が参加できるよう、職員配置を行っております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要な場合に応じて関係機関と連携し、支援体制に努めております。	・今後も引き続き、関係機関と連携した支援体制を整えてまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・面談や送迎等の際に、学校側との情報共有や連絡調整を行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			・就学後の情報共有は、現在行っていない状況にあります。必要に応じて対応できるよう努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			・障害福祉サービス等の移行先に対しての情報提供が行っていない状況にありますので、今後取り組んでいきたいと思っております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			・現在、地域にて支援センターが設置されていないため、今後検討していきたいと思っております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			・現在、機会を設けていない状況にあります。検討していき、取り組めるよう努めてまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・協議会等への参加を行っております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・その日の様子や現状をタブレット端末にてお伝えしたり、送迎に来られた保護者様とお話しを、共通理解を行っております。	・保護者様に合わせた情報伝達方法（タブレット端末、送迎等）で課題についてお話しする機会を設けていけるよう努めてまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・家族等が参加できる研修（外部からの案内）の情報提供を行っております。	・当事業所にて保護者様に対しての支援プログラムを通して支援が来ていない現状であるため、今後取り組めるよう努めてまいります。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に支援内容や利用者負担についての説明を行っております。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・担当者会議にて保護者の意向や要望の聞き取りを行っております。可能な限り意向に沿った計画を作成しております。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・放課後等デイサービス計画書を提示しながら、保護者様に説明を行い、同意を得ております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・相談に対して迅速に対応できるものは助言を行っております。内容によっては職員間で話し合い、対応や支援方法を考えながら支援に繋げております。	・今後も専門性を高め、適切な対応・助言ができるよう努めてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・年に1回、親子でのふれあい行事を行っており、保護者同士・きょうだい同士の交流の機会を設けております。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・利用児童や保護者様からの相談、申し入れがあった際には、面談等を行い迅速に対応出来るよう心がけております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月お便りの配布やHP等にて活動の様子や行事等のお知らせを行い、情報を発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・外部に情報が漏れないように厳重に保管することを徹底しております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・個人に合わせたやり取りや方法で、適切に意思の疎通や情報伝達ができるよう、配慮・工夫を行っております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・餅つき等、地域の方々を呼び、参加ができる事業運営を行っております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルを策定し、職員間で周知しており、定期的に訓練を実施しております。	・定期的な見直しを行ってまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・業務継続計画を策定しており、定期的な訓練等にも努めております。	・定期的な見直しを行ってまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・服薬や予防接種、てんかん発作等の児童がいる際には、職員間や保護者様とも連携を図ったうえで把握に努めております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	○	・現在、対象児童はいませんが、今後のためにも迅速に対応できるよう体制を整えております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成しております。安全計画に基づいて、職員間と協力しながら安全を提供しております。	・安全計画の定期的な見直しを行ってまいります。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・安全計画に基づいた取り組み内容を、保護者様へ通知しております。	・ホームページ等で周知を行ってまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットを作成し、全職員間で共有を行い、再発防止に努めております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会を中心に全職員を対象とした研修等を行い、事業所間で情報共有を行っております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・該当する児童に対しては、あらかじめ保護者様に説明を行い、了承を得た上で計画書に記載しております。		